

地域再生計画（地方創生道整備推進交付金）中間評価調査

都道府県名	長野県	事業実施主体	長野県・岡谷市	地域再生計画名	岡谷市「安全安心で魅力のあるまち 岡谷」
計画期間	平成25年度～平成30年度	事業期間	平成25年度～平成30年度	評価責任者	長野県林務部長 山崎 明 岡谷市建設水道部長 山岸 徹 岡谷市産業振興部長 赤沼 喜市

	指標		基準値		直近値		目標値		見込み	達成状況に関する評価
			基準年度		年度		基準年度		評価	
①地域再生計画に記載した数値目標の達成状況	指標 1	迂回路確保 （地域間ネットワーク網の構築）	災害時孤立 集落の解消 4集落	H24	災害時孤立 集落の解消 1集落	H28	災害時孤立 集落の解消 0集落	H30	○	道整備交付金を活用した道路網の整備効果により目標値を概ね達成できる見込みである。
	指標 2	森林の整備（搬出間伐面積の増加）	年間搬出間 伐面積 100ha	H24	年間搬出間 伐面積 92ha	H28	年間搬出間 伐面積 130ha	H30	△	平成28年度に諏訪地域で開催された御柱大祭の影響で、27、28年度は搬出間伐のみならず全体的に森林整備が進まなかった状況である。29年度の搬出間伐面積の見込み量は110haである。
	指標 3	安全通行の確保 （林道高尾山線の危険箇所の改善）	林道 危険箇所 5箇所	H24	林道 危険箇所 0箇所	H28	林道 危険箇所 0箇所	H30	○	危険箇所5箇所は林道整備による舗装や待避所の設置により改善され、安全通行の確保が図られた。
②地域再生計画に記載した数値目標以外の波及効果の発現状況	指標 1									
	指標 2									
③事業の進捗状況	事業名		整備量（その他の事業では取組内容）			事業の進捗状況に関する評価				
			計画	中間年度（H28）	最終実績見込み					
特別措置を適用して行う事業	市道整備事業（整備延長）		3.74km	1.65km	3.74km	1路線の事業がすべて完了し、災害時孤立集落の内、3集落が解消となった。道路整備により、緊急時のバイパス道路網の構築が図られ、幹線道路である県道及び市街地の渋滞緩和につながる見込みである。残された区間を整備することで目標の達成を行う。				
	林道整備事業（整備延長）		2.0km	1.93km	1.93km	整備が計画通り完了した。危険箇所の改修が進み、安全に通行が出来るようになった。改修によって大型車両のアクセスが向上したため、搬出間伐面積の向上に繋がると考えている。				
その他の事業	岡谷市民病院建設事業		住民の命と健康を守り、求められる幅広い医療の提供に対応できる総合病院として、よりよい医療の提供が出来る環境を整え、安心で思いやりのある生活と地域活力の向上を図る。			平成28年度に完成し、病院事業として新規に開院を迎えている。岡谷市民病院建設事業が完了したことにより、質の高いよりよい医療を提供できる環境が整った。基本理念に「思いやり」を掲げ、「救急医療の充実」、「安全安心の医療の確立」、「地域連携の推進」を図り、災害医療の拠点となり、市民生活の安全安心を実現している。				
	新消防庁舎建設事業		あらゆる災害や緊急事態に備えた消防施設として、災害応急対策の拠点機能を有するとともに、大規模災害時等には、住民の一時避難場所として受け入れ可能な庁舎の建設を行う。			平成26年度までに完了し、あらゆる災害や緊急事態に備えた消防施設が完成した。消防本部として集約し、専門的かつ効率的な事務が可能となった。また、消防指令センターを整備することにより、諏訪地域全てを受付、各消防署・分署に指令通信を行い、災害発生現場に最も近い消防車両を出勤させることが可能となり、現場到着時間短縮と的確な消防車両の選択、編成が可能となった。				

		まちづくり活性化事業	岡谷市独自の特色を生かした取り組みである、童画のまち・うなぎの町・太鼓のまちによるまちづくりを推進し、まちなかの賑わいや地域の活性化を図る。	地域資源で活かした魅力あるまちづくりを進めるとともに、ブランドブックに沿った取り組みを推進した。信州シルクロード連携協議会を発足し、シルク岡谷をキーワードに、観光客の誘客促進を図った。また、岡谷ブランドを積極的に発信することで本市の認知度を高め、観光客の増加、交流人口の増加につながったと考えている。
		企業誘致推進事業	企業誘致を推進し、働く場所を確保することで、定住人口の増加及び地域経済の活性化を図る。	年に数件の企業誘致を推進し、市内企業数の増加とともに雇用者を創出し、経済の活性化に繋がった。土地取得及び事業所確保に対する経済的側面からの支援や、産業集積地である岡谷市の魅力発信により、効果的な企業誘致実施した。誘致した企業のアフターフォローも行い、企業の流出防止にも努める。
	計画外で独自に実施した事業			
④評価方法		地域再生計画評価委員会を開催、中間目標値の実現状況に関する評価・検討等を行った。		
⑤中間評価の公表方法		岡谷市土木課のホームページに掲載。		
⑥計画全体の総合評価		本地域再生計画では、地域創生道整備推進交付金を活用し災害時孤立集落の解消及び更なる森林整備の活性化を図るために、市道整備と林道整備を一体的に実施し、地域間ネットワーク網が構築できたことで主要幹線道路及び市街地の渋滞緩和や森林整備促進などの効果を実現できたものと考えられる。災害時孤立集落は残り1集落となったことで、計画目標は達成できると見込んでいる。また、計画と一体的に行う新病院建設並びに消防庁舎建設事業も完了したことにより市民生活の安全安心で魅力のあるまちを実現してきている。		
⑦今後の方針等		今後も引き続き、災害時孤立集落の解消及び更なる森林整備の活性化を図るために、地域間ネットワーク網の強化が必要であると考えている。 地域間を結ぶ市道、林道整備を継続して推進し、本計画で整備した地域間ネットワーク網との連携により市域全体をカバーする道路網の実現を目指す。また、林道網が構築されていることから今まで搬出機材が進入できなかった箇所についてアクセス改善が図られることが期待でき、効率的な搬出間伐を実施することで、山地災害の減少を目指す。		